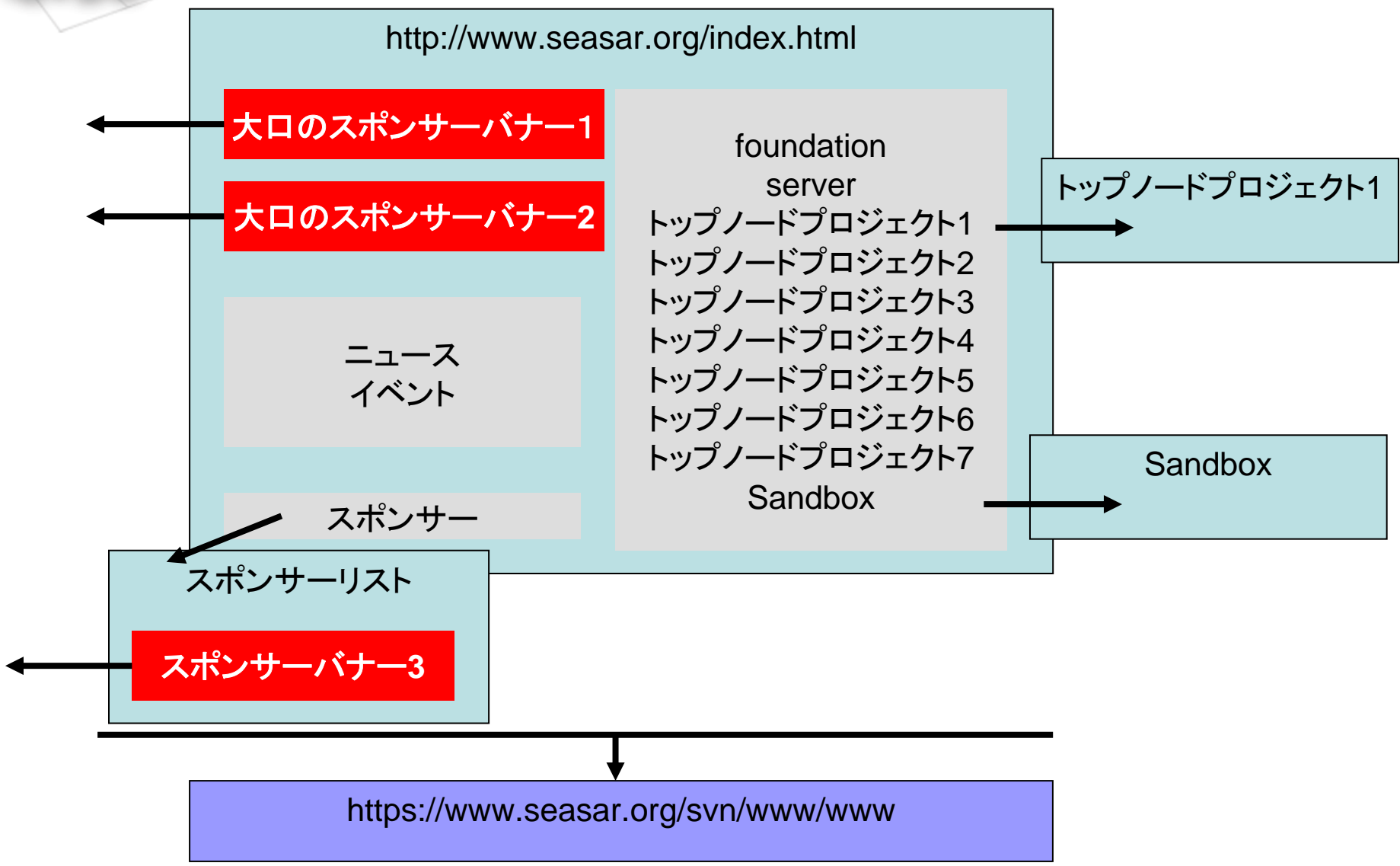


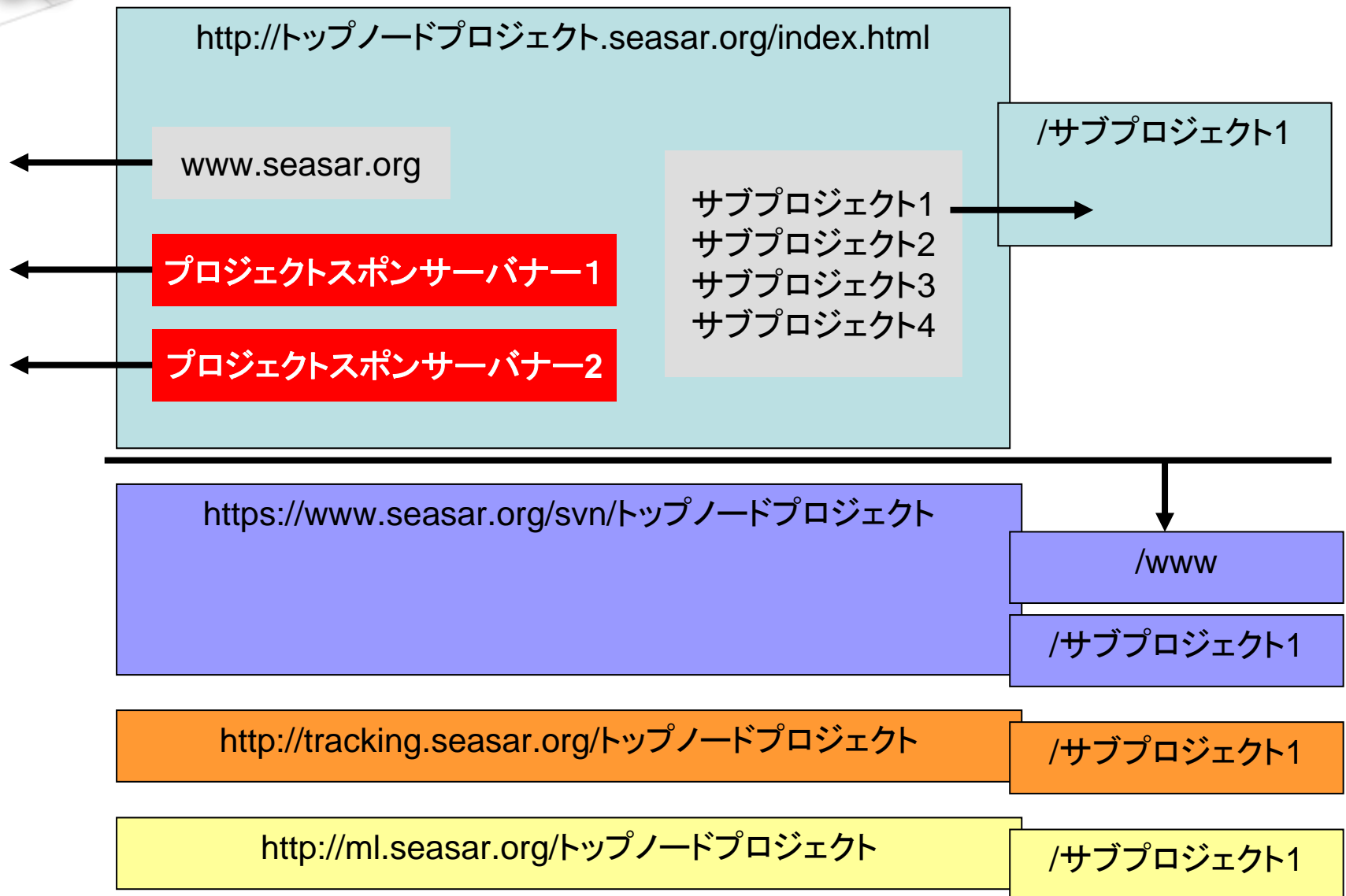


---

# Seasarファウンデーション およびSeasar.orgの構造案

2005/07/21  
代表理事 栗原傑享





- ファウンデーションの「団体会員」
  - 1口5万円で、1口以上と定款に規定
  - 2口目からの口数が「スポンサーシップ」口数
    - 1口以上の年会費獲得のための方策
- 大口のスポンサー
  - スポンサーシップ口数が特別多い団体は、wwwにバナーを貼る権利を提供する
- プロジェクトスポンサー
  - トップノードプロジェクトのスポンサー
  - スポンサーシップ口数を、団体がサポートしたいトップノードプロジェクトに申し込み時に割り振る
  - プロジェクトが企業活動に貢献しているかの指標
    - スポンサーを集められないプロジェクトは何が足りないのか？ 趣味的なのか？ アピールが下手なのか？
    - ファウンデーションでサポートする

- プロジェクトによるスポンサー獲得
  - トップノードプロジェクトではプロジェクトスポンサーのバナーを掲示
  - PLは、年度毎に活動報告をスポンサーに行う
    - 次年度のスポンサーシップをお願い
      - 継続的な年会費徴収の手段
    - スポンサーの要望は真摯にうけとめて検討する
  - スポンサーの獲得状況に応じて、自ずからwwwでの取り扱いや、セミナーでの待遇が異なる
    - ...ぐらいの資本主義的な面もあってよいのではないか
    - OSSなので、金=善ではないので、待遇の違いもそのぐらいにとどめる